


校種	小学校	学年	6年	教科・領域	外国語活動	副読本P	P46・47
防災教育副読本 第5章 1				つながる～世界の国々と～			

授業者 仙台市立七郷小学校 村上 博基 教諭

【ねらい】 時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

国際姉妹都市からの支援について感謝の気持ちを持たせる。

	児童の活動	指導者の活動	準備物・児童の反応 (◇)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示された地図上の都市を見て何を表した地図かを考える。 ・ 各地の写真を見ながら、国も考えてみる。 ・ 各都市の時差について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台に注目させ、他の都市との関係を考えさせる。 ・ 地図上で都市と国を一致させる。 ・ 各都市の写真に数字入れ、その数字が何であるか考えさせる。 ・ 「時差」という言葉を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市の姉妹都市の地図 ◇しばらく考えた後、「友好都市！」という声が聞かれた。 ・ 各都市の写真 ◇ベラルーシやフィンランドは難しいようで正解はいなかった。他は正解した児童がいたのには驚いた。(特にアカプルコ→メキシコ) ◇時間の差ということに気が付く。
展開 I	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの都市が今何時なのかを考えていく。 ・ 各地の時間を想像してみる。 <p>国際姉妹・友好都市／協定姉妹都市</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台が 12 時 5 分のときの各都市の時間を英語で聞く。 What time is it in Dallas? It is 9 :05PM. →時刻を尋ねる表現に慣れる。 →AM・PMにも触れる ・ ダニエル先生の母国カナダや、担任が勤務していたベルギーの時刻も知らせ時差を実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇単純な引き算だが、12 時間を超える時差のあるアメリカなどはなかなかすぐには言えなかった。 ◇午前・午後の言い方を知り納得していた様子。 ◇場所によって早朝であったり、まだ昨日の夕食の時間帯であったりすることについて驚いている児童が多く見られた。
展開 II	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災時の姉妹都市の支援について知る。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際姉妹都市からの支援に感謝するとともに、七郷小学校が海外から受けた支援を思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育副読本 (P46) を活用 ・ 副読本を活用して、震災後にどんな支援があったかを知る。 ・ ジェスチャーと写真、簡単な英語で支援について紹介する。 Water, It's a present from Choshun China. Messages from Dallas. Charity event in Tainan. ・ 七郷小学校が受けた海外からの支援を思い出させる。(メッセージ等を思い出させる) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際姉妹都市からの支援について知らなかった児童が多く見られた。 ◇「国際姉妹都市からの支援がうれしかった。自分も、姉妹都市に何かあったときは、できることがあれば何かしてあげたい。国際姉妹都市に恩返しをしたい。」という感想が聞かれた。
終結	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に感想を発表させる。 ・ どの話もじっくりと受け止める。 	振り返りカード

【評価】 時刻を尋ねる表現に慣れ親しんだか。

国際姉妹都市からの支援について感謝の気持ちを持つことができたか。